



エキノコックス症対策の現状

保健福祉部 感染症対策局 感染症対策課

北海道のエキノコックス症対策（概要）

概要

- 本道におけるエキノコックス症の予防並びにエキノコックス症の患者の発見及び治療のための対策を講ずることにより、道民の健康保持に努めることを目的としている。
- 道民の健康に対する脅威に鑑み、大学や関係機関と協力してエキノコックス症対策を積極的に推進するため、北海道エキノコックス症対策協議会の下に2つの部会を設け、専門的に議論し対策を講じている、

衛生教育・調査研究

- 衛生教育を最重点の事業と位置づけ、市町村は保健所と連携の上、地域住民に対し、エキノコックス症に関する正しい知識の普及啓発を実施
- 道では、道立衛生研究所や北海道大学の研究グループの研究成果を踏まえ、エキノコックス症感染源対策を実施

健康診断

- 患者の早期発見を目的に、市町村は住民を対象に第1次検診を実施し、道は感染の疑いのある者を対象に第2次検診を実施
- 第1次検診：市町村は住民を対象として計画的な実施
- 第2次検診：道が指定する医療機関で検診

媒介動物対策・飲料水対策

- 感染予防対策（動物性廃棄物の適正処理、野犬対策）
- 疫学調査（解剖検査、流行状況の把握）
- 媒介（宿主）動物の処分
- 飲用井戸等の利用状況の把握・水質検査及び施設検査、水道水等の施設整備、飲用井戸等の施設の改善とエキノコックス虫卵除去装置の設置・対策の指導

➤ 北海道エキノコックス症対策協議会
患者調査専門部会

➤ 北海道エキノコックス症対策協議会
媒介動物対策専門部会

エキノコックス症の発生動向、科学的知見、対策の進捗状況等を評価



北海道におけるエキノコックス症対策の推進（予防・早期発見・早期治療）

エキノコックス症について

四類感染症・全数把握疾患

流行の概況

- 年間患者届出は、2022年は23であったが、2023年は13に減少している。
- 1936年に北海道の礼文島出身の患者に国内初の肝手術が北海道大学で行われ、1965年に道東地区の根室市から患者2名が発見された以降、道東で流行が見られてきたが、北海道大学病院で患者の治療や外科的手術が多く行われていることもあり、札幌市の届出数が多い年も散見される（2023年の札幌市は全道の15.4%）

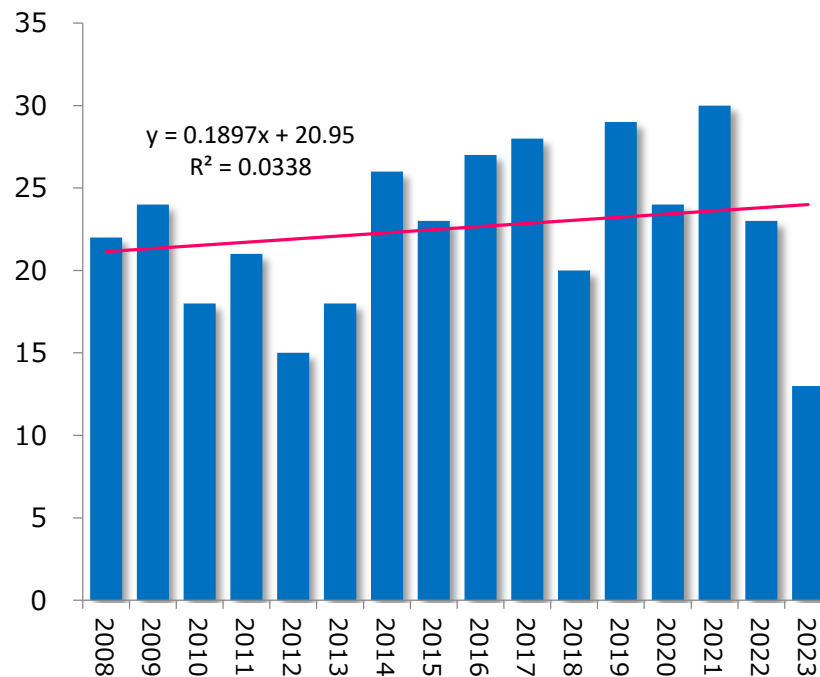
課題（北海道感染症予防計画（案）（抄））

- エキノコックス症は、一般に緩徐に進行するため、合併症を引き起こさない限り無症状であるが、進行により嚢胞破裂等の**重篤な転帰**をたどり得るため、血清学的検査による**早期発見・早期の治療介入が重要**である。
- 近年、道内では、野生のキツネが住宅地や市街地に出没するいわゆる**都市ギツネ（urban fox）の出没**が顕著になっており、エキノコックスに感染するリスクの増加が懸念されているところである。

施策の方向性と主な施策（北海道感染症予防計画（案）（抄））

- エキノコックス症の早期発見・早期治療に資するよう、市町村による住民のエキノコックス検診（1次検診）、道による2次検診の受診促進について普及啓発を行うものである。
- 道は、市町村や専門家及び医療関係者等と密接に連携を図りながら、**北海道エキノコックス症対策協議会**の場を通じて、エキノコックス症の感染状況、都市ギツネ対策を含むエキノコックス症の媒介動物対策等を専門的に審議し、道民に対する知識の普及や感染源等の調査研究などの対策を**総合的に推進**するものとする。

図1 エキノコックス症報告数（2008-23）



年	2018	2019	2020	2021	2022	2023
報告数	20	29	24	30	23	13
年	2012	2013	2014	2015	2016	2017
報告数	15	18	26	23	27	28

図2 エキノクックス症報告数（2013-2023・保健所別）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
札幌市	3	11	8	9	9	12	9	7	15	10	2
小樽市	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
市立函館	1	3	3	3	0	2	0	2	3	2	1
旭川市	1	1	2	2	3	0	0	3	0	2	1
江別	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
千歳	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
岩見沢	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滝川	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
深川	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
上川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富良野	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
名寄	0	0	1	2	2	0	2	2	0	0	1
岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倶知安	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
江差	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
渡島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八雲	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
室蘭	1	0	2	1	2	0	3	0	0	0	1
苫小牧	1	0	2	0	0	0	3	0	2	0	0
浦河	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帯広	1	2	0	1	4	2	2	2	0	3	1
釧路	1	1	2	1	2	0	4	2	1	0	2
根室	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
中標津	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
網走	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0
北見	3	2	1	2	2	1	3	0	6	1	2
紋別	0	0	1	0	1	0	0	1	2	1	0
稚内	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0
留萌	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1
計	18	26	23	27	28	20	29	24	30	23	13

(出典) 感染症サーベイランスシステム (NESID) に基づき北海道が作成